事 業 報 告 書

1 支援団体名	ななせ交流会
2 事業名称	川といっしょにinのつはる「ダムのある里づくり」
3 実施日時	平成28年4月～平成29年3月
4 実施場所	七瀬川流域・大分川ダム周辺
5 事業目的、内容及びその効果	（事業実施状況･内容） 毎月一回の定例会で行政機関各方面からアドバイスを受けながら活動を進めている。また月一河川の清掃を全員で取り組んでいる。 「花火大会」「川原でB.B.Qを」「ストーンアート教室」などは地域住民の恒例行事となって川への関心を深める事、ダム源流として自然環境の保全を考える機会になっている。水質検査を上下流10ヶ所で実施して観察している。地域の色々な催事に声がかかり「ななせ交流会」として参加している。会員の研修として先進地視察を積極的に実施してスキルアップを図っている。 「大分川ダム」の完成が間近になり、地域の活性化を視野に入れた活動を今からしていく事を目標に会員一同意識統一した。 現在、ダム事務所が開催している「ダム視察バスツァー」のサポーターとして参加者のお世話を始めた。ビオトープの管理を依頼された。またダム事務所の依頼でダム湖周辺に桜の植樹をするプロゼクトを立ち上げた。現在工事中のため工事の進捗状況で植樹場所は決められていく事になっている。第一陣としての植樹を済ませた。 桜の植樹も地域住民の記念樹として取り組んでいきたい。
	（事業実施効果） 　各事業については地域に「ななせ交流会」の活動が浸透して来たと思われる。花火の協賛には多くの方から声掛けしてもらえるようになった。ストーンアート教室を各所で開催していたことからこども園の親子遠足で会員が整備している河川敷で石をひらい、お絵かきを親子で楽しみました。若い保護者に七瀬川の自然環境の保全を話すことが出来た。ダム湖周辺道路に桜並木が続くときっと集客に効果が期待できるだろう。
6 参加内訳	総人数　500　名
	（1）主催者参加　45　名
	（2）日本人参加（（1）を除く）　450　名
	（3）外国人参加（（1）を除く）　5　名
7 今後の方針	河川敷の整備、河川清掃を続けて一人でも多くの住民に七瀬川の存在を認識してもらいたい。 今までの事業を継続して多世代で自然環境の保全を呼び掛ける機会を創りたい。「ダムのある里づくり」を目指していきたい

毎月のゴミの量に驚く(河川清掃)

親子で仲良く作業（こども園親子遠足）

2 年続きの雨、今年は晴れだ（花火大会）

落ちないように水汲んで（10 ヶ所水質検査）

大型重機すごいね（ダム見学者のサポート）

満開に速く育って（ダム湖を桜並木で）